

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	児童・生徒の心に響く道徳教育の充実が図れるよう、教員を対象とした授業参観及び授業研究会を計画的に行うことが必要である。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	教員を対象とした授業参観及び授業研究会を小学校、中学校ともに実施することにより、道徳教育の充実が図られている。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	道徳授業研究会における参加者数の実数値から判断しても妥当であり、児童・生徒の道徳的実践力の育成が図られている。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	小・中学校の連携をふまえた事業を検討することにより、義務教育9年間を通じた道徳教育の研究を進めている。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 現在、小学校・中学校それぞれにおいて、研究会を実施しているが、小中学校が連携した事業の検討が必要である。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				道徳授業研究会の 実施	道徳授業研究会の 実施	道徳授業研究会の 実施		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内 訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.55	0.55	0.55	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	4,616	4,616	4,616	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	4,616	4,616	4,616	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合	
<判断理由> 教員を対象とした授業参観及び授業研究会を小・中学校とも連携を図りながら実施する。また、日々の学校生活の様々な場面で体験活動を通して道徳教育の充実を図るようにする。	
平成21年度の実行方針 小・中学校の連携を図るためそれぞれの研究会に校種を越えて積極的に参加できるように働きかける。	
課長コメント	教員を対象とした授業参観及び授業研究会を小学校、中学校ともに継続して実施していきたい。また、日々の学校生活の様々な場面で体験活動を通して、児童・生徒の心に響く道徳教育の充実を図っていきたい。また、小・中学校の連携が図れるよう、それぞれの研究会の持ち方を検討していきたい。